

伊達市立月館中学校

教科名等：学級活動
単元(題材)名：ジェンダーにとらわれない職業選択について考える
年：第3学年

実施状況

<ねらい>

ジェンダーにとらわれずに、自分らしさを大切にしながら職業選択していくことの大切さに気づく。

<授業内容>

まず、将来の自分の夢や就きたい職業について発表させ、進路について考える機会であることを確認した。職業を男女別に分けるワークシートを用いて話し合いを行い、仕事に対して持っているイメージがジェンダーにとらわれていることに気づかせた。最後に、性別役割にとらわれず、自分らしく仕事をしている人の資料やインタビュー映像を見せ、職業を選択するときにどのようなことを大切にしていきたいかをワークシートに記入し、発表させた。

生徒の感想

- 男女の区別なく、自分の好きな仕事を目指せばよいと思った。
- でも、性別を気にせず仕事を選ぶのは、勇気がいると思った。
- 自分をよく知り、自分にあった職業に就くことが大切だと思った。これは女性の仕事、男性の仕事と決めつけないで、自分のやりたい仕事があつたら何でも挑戦していきたい。
- 私も夢を持ち、夢に向かって一步を踏み出し、やりがいが持てる仕事に就きたいと思った。
- 自分が本当に就きたい職業をよく考え、それに向かってあきらめない気持ちを持つことが大切だと思った。そういう気持ちを持っていれば、必ず就きたい職業に就けると感じた。

参観者の感想

- 男女の役割や仕事について、見直す良いきっかけができたと思います。伸びやかに自分がやりたい仕事をみつけてほしいです。
- 職業観に関する指導は、1年生の頃から計画的に行なうことが大切であると感じました。
- 世の中の流れが学校に生かされ、学べることが大変すばらしいと感じました。
- 日本の枠にとらわれず、世界を意識し、日本人として立派な人格育成には必要な時間であると考えさせられました。

指導者の感想

- 社会科（公民的分野）でも男女共同参画社会等について学習し、多くの生徒が性別にとらわれずに個性を尊重していくことの大切さを認識している。しかし、自分たちの中にも「男の仕事」「女の仕事」というイメージが無意識のうちに存在していることに改めて気づいた生徒が多くかった。
- 性別役割にとらわれずに自分らしさを大切にして職業選択した人生の先輩の資料やインタビュー映像は、進路選択の時期も迫り、漠然とした不安を抱えながら生活している生徒たちにとって、大きな励ましのメッセージとなった。男女共同参画社会について考えるための授業ではあったが、進路選択に関するプラスの効果があったと感じる。
- 自分をよく知って自分らしい進路選択ができるよう、今後も学級活動等で考えさせてていきたい。